

# KSKP

編集人 特定非営利活動法人ゆめ風基金事務局 (〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-13-43-106)  
TEL 06-6324-7702・FAX 06-6321-5662・郵便振替 00980-7-40043  
MAIL info@yumekazek.com・WEB https://yumekazek.com/

No.  
**110**

# ゆめ風だより

書  
左右津安輝子



## 被災者を 一人の「人」として 支援を



代表理事 <sup>とだ</sup> <sup>じろう</sup>  
戸田 二郎

一九八四年八月二十日第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6)日発行

今年(2025年)は阪神淡路大震災から30年。ゆめ風基金設立から同じく30年になります。ゆめ風基金は震災の被害を受けた障害者や障害者事業所(当時は作業所)などの再建を支援するために設立されました。被災した障害者たちが避難所でどんな避難生活をしているのか気になる中、伝えられる情報は厳しいものばかりでした。とりあえず救援活動をするのに車での移動はむづかしいので、バイク(50cc)が必要との話で2台のバイクと布団などを車に積んで神戸に向かいました。そこで町の被災状況を見て愕然としたことを思い出します。

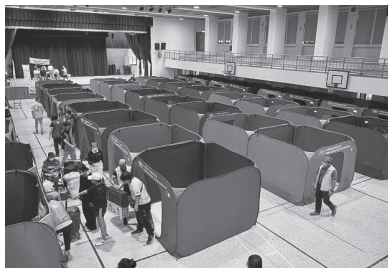
昨年の元旦、夕方に大きな揺れを感じテレビのニュースを見ると石川県の能登地方であることがわかりました。ゆめ風基金はすぐに情報収集に努め、ゆめ風ネット加賀(ひまわり教室)など被災地の障害者団体・支援団体と連絡を取り、支援の準備と共に必要な支援を始めました。水などの生活物資の配送を道路が寸断されている中でも取り組んできました。

発災後避難所が開設されましたが、30年前の阪神淡路大震災と変わらぬ、

### INDEX

- 01 巻頭言
- 03 能登半島地震 救援金一覧
- 04 能登半島地震 個人見舞金に関して
- 06 リレーエッセイ 災害と障害者 第八十三回
- 08 東京イベント報告
- 09 応援団からこんにちは! vol.12
- 10 カンパをいただいた団体 / 事務局の動き
- 11 会計報告
- 12 各地からの風だより

台湾の避難所



能登の避難所



個人の生活リズムは無視され、プライバシーもない雑魚寝状態の避難所での生活を被災者は余儀なくされています。そんな避難生活を避けた被災者が、農業用のビニールハウスや半壊の家で、近所の人達が寄り添い生活する姿が報道されました。また、集団での環境では生活が難しい知的障害のある人は、そもそも避難所には周りの人を気にして入れません。介護の必要な人も同じです。

阪神淡路大震災以降、東日本大震災・熊本大震災があったにもかかわらず30年前の阪神淡路大震災から国や行政は何を学んだのでしょうか。

台湾東部で昨年の4月に最大震度6強を観測した地震がありました。しかし日本とは大きく違って、発災から3時間後には

プライバシーを確保できる個室のようなテントが設置され、避難者に食事や下着などの日用品、アロママツサージなども無料で提供されたことが報道されていました。

石川県の4市町は12月27日、男女15人を能登半島地震の災害関連死に認定したと発表しました。今回の能登地震での関連死は270人となり、富山県と新潟県で関連死に認定された6人の方含めると、2016年に発生した熊本地震の関連死の222人を超えています。災害関連死は遺族からの申請を受けて審査がされるため、まだまだ増える可能性があります。災害関連死の多さに、地震発災後の命を守るための十分な取り組みがなされていないか、たのではないかと思わずにいられない。

9月には奥能登豪雨災害が起こりました。この豪雨で仮設住宅にも被害が出ています。仮設住宅を建設する時、半島で、かつ山間地が多いため、土地が少なく豪雨災害の可能性の高いところにも仮設住宅を建設していました。当然豪雨災害が起きた時の支援体制が想定されていなければならぬと思

うのですが、想定されていたか疑問が残ります。ゆめ風基金は、地震と豪雨の両方の被害に遭われた障害者世帯へ10万円の個人見舞金をお届けしています。見舞金の申請書には「9月19日にやっと仮設住宅の当選ハガキが届いたが、豪雨でその仮設住宅が被害に遭い、今も半壊した自宅で不安な日々を過ごしている」という何ともいたたまれないことを書いておられます。

ゆめ風基金は、前代表の牧口一二さんと元副代表の河野秀忠さんが神戸の被災状況を目にして、被災障害者や障害者事業所の復興の支援を息長く取り組むことと、今後の災害にも備えたいという思いで、多くの仲間と共に設立しました。障害者解放運動を共に取り組んできた河野さんが2017年に亡くなり、牧口さんも設立30年まであと半年という2024年9月に亡くなってしまいました。今代表を仰せつかっておりますが、偉大で敬愛する大好きなお二人の思いを大切にして取り組んでいきたいと思います。

## 能登半島地震 救援金・救援活動費 2024.1~12/23

合計 64,422,203 円

1/5	ひまわり教室 [石川県金沢市]: 救援物資・ガソリン代等	500,000 円
1/10	ひまわり教室 [石川県金沢市]: 救援物資・ガソリン代等	1,000,000 円
2/7	ひまわり教室 [石川県金沢市]: 救援物資・ガソリン代等	1,000,000 円
2/27	NPO 法人石川バリアフリーツアーズセンター [石川県金沢市]: 救援物資・ガソリン代等	3,901,150 円
3/5	ひまわり教室 [石川県金沢市]: 救援物資・ガソリン代等	500,000 円
3/27	児童ホームあだぷと [石川県穴水町]: トイレ改修工事費	62,000 円
3/27	NPO 法人あすなろふたば ぱいんの会 [石川県輪島市]: パソコン、コピー機購入費	1,610,400 円
4/1	ゆめ風基金事務局 救援活動費 (1/1 ~ 3/31)	233,015 円
4/5	ひまわり教室 [石川県金沢市]: 救援物資・ガソリン代等	500,000 円
4/17	社) 礎会 自立支援センターみずほ [石川県能登町]: 耐久食器購入費	396,214 円
4/26	NPO 法人七尾鹿島手をつなぐ育成会 ほうぶ子どもの家 [石川県七尾市]: レンジ、DVD プレーヤー等、購入費	419,150 円
5/7	一般社団法人ともえ [石川県七尾市]: 福祉避難所兼障がい者居住支援施設建設費用	5,000,000 円
5/8	合同会社ぼぷら [石川県七尾市]: デイサービス建物損壊部分補修工事費	5,940,000 円
5/30	NPO 法人スペース Be [新潟県新潟市]: 建物耐震検査費用	1,610,000 円
6/7	NPO 法人夢かぼちゃ [石川県輪島市]: 建物補修工事、備品購入費 (コーヒーマーカー)	572,800 円
6/7	社福) 野の花福祉会 ゆうの丘 [石川県七尾市]: 施設備品購入費 (空き缶プレス機)	722,500 円
6/30	ゆめ風基金事務局 救援活動費 (4/1 ~ 6/30)	400,628 円
7/12	NPO 法人石川バリアフリーツアーズセンター [石川県金沢市]: 救援物資・ガソリン代等	632,581 円
7/19	日本障害者フォーラム [東京都新宿区]: 能登の障害者支援拠点の維持管理費 7月~3月分	4,500,000 円
8/7	NPO 法人七尾鹿島手をつなぐ育成会 ほうぶ子どもの家 [石川県七尾市]: 施設改修費 (キッチン、バス)	2,821,036 円
8/7	NPO 法人夢かぼちゃ [石川県輪島市]: 送迎車両購入、建物追加補修工事費	2,868,010 円
8/29	ひまわり教室 [石川県金沢市]: 救援物資・ガソリン代等	500,000 円
8/30	NPO 法人いきいき [石川県穴水町]: 災害による給付金減少に伴う人件費補填	3,000,000 円
9/30	ゆめ風基金事務局 救援活動費 (7/1 ~ 9/30)	530,575 円
10/1	一般社団法人つながり [石川県羽咋市]: グループホーム施設改修費	7,000,000 円
10/1	ひまわり教室 [石川県金沢市]: 救援物資・ガソリン代等	300,000 円
11/26	一般社団法人ともえ [石川県七尾市]: 障害者個人へのお見舞金 (1人分)	100,000 円
11/26	社会福祉法人すず樺 [石川県珠洲市]: 障害者個人へのお見舞金 (2人分)	200,000 円
11/26	社福) 弘和会 一互一笑 [石川県輪島市]: 障害者個人へのお見舞金 (17人分)	1,700,000 円
11/26	NPO 法人地域支援センター ポレポレ [石川県金沢市]: 障害者個人へのお見舞金 (2人分)	200,000 円
12/4	NPO 法人夢かぼちゃ [石川県輪島市]: 職員に対する休業補償の一部費用	300,000 円
12/4	NPO 法人夢かぼちゃ [石川県輪島市]: 移送支援費用 10月分	108,224 円
12/4	NPO 法人夢かぼちゃ [石川県輪島市]: 障害者個人へのお見舞金 (3人分)	300,000 円
12/20	社) 鳥越福祉会 さざなみ [石川県珠洲市]: 障害者個人へのお見舞金 (1人分)	100,000 円
12/20	NPO 法人あすなろふたば ぱいんの会 [石川県輪島市]: 障害者個人へのお見舞金 (43人分)	4,300,000 円
12/20	NPO 法人地域支援センターポレポレ [石川県金沢市]: 障害者個人へのお見舞金 (4人分)	400,000 円
12/20	社会福祉法人日本盲人福祉委員会 [東京都新宿区]: 障害者個人へのお見舞金 (9人分)	900,000 円
12/20	NPO 法人石川バリアフリーツアーズセンター [石川県金沢市]: 障害者個人へのお見舞金 (5人分)	500,000 円
12/20	NPO 法人夢かぼちゃ [石川県輪島市]: 移送支援費用 11月分	143,920 円
12/20	NPO 法人夢かぼちゃ [石川県輪島市]: 障害者個人へのお見舞金 (1人分)	100,000 円
12/23	NPO 法人 千種の舎 [新潟県新潟市]: 事業所改修費	8,550,000 円



輪島市河井町

## 能登半島豪雨被災障害者世帯に 個人見舞金をお届けしました

2024年9月、能登半島北部を豪雨が襲いました。地震での復興もままならない中、豪雨による被害報告が次々と届きました。ゆめ風基金では緊急理事会を開き、豪雨被災障害者世帯にお見舞金一人10万円をお届することを決めました。

個人見舞金をお渡しするのは3度目ですが、個人から直接申請ではなく、地元の障害者関係団体を通じて申請していただきます。それは今後困りごとが起きた時に、地元の団体に相談できるパイプを作ってほしいからです。被害の聞き取りやお見舞金の配布を介して、関係性を築くことが重要だと考えています。

今回も福祉サービスを利用していない方からの問い合わせが多く、輪島や珠洲の相談員さんや障害者団体、金沢の事業所へ繋ぎ取り等をしていただいた結果、年内に86件、年明けに74件の見舞金を配布することができました。

## 被災者の声

輪島市、能登町、珠洲市の被災障害者から悲痛な声が届いています。

裏山が崩れ、土砂で自宅が流された。屋根はテトラポットに引っ掛かり、一部は海に流れ、一部は土砂に埋まった。家はすべて失ってしまった。

断水、停電で地域全体が避難区域となる。本人含め家族は、ヘリで救助される。本人は、穴水総合病院へ入院後、青山彩光苑穴水ライフサポートセンターへ避難継続中。

豪雨の後、停電と断水があった。これまで音に対する反応はなかったが、豪雨後、雨音に過敏に反応し、耳をふさぐようになった。仮設住宅のため（屋根が波板で平屋）雨音が響き、避けることができないためイヤーマフラーの使用も考えている。

地震により自宅を失い、息子宅に避難。9月にやっと仮設住宅への入居の目途が付き、電気水道などの接続を待っていたところ入居予定の仮設が床上浸水し、入居が2ヶ月遅れた。

震災後、金沢のみなし仮設で生活。浄化槽の修理が終えれば、自宅で生活する予定だったが、豪雨で川が氾濫し、自宅が流され住む家が無くなる。

自宅の裏山が崩れ、土砂が自宅1階に流れ込んだ。自宅周辺の道路が冠水、翌日、救助ヘリで市内病院に搬送してもらった。電気、水は復旧、道路も通行可能となり、現在は自宅2階で生活している。



被災者の声

自宅横の塚田川が氾濫。上流から土砂や家が流れてきた。周囲は氾濫した水や流木で避難できず、2階に垂直避難した。水位が落ち着いてから、近隣の中学校で3日程避難する。

自宅で過ごしていたが、河原田川が氾濫。自宅は氾濫地点よりも低く、近くだった事もあり、すぐに最寄りの避難所へ向かうも、太ももまで水が流れていた。移動が困難だったが近くにいた男性が抱えて下さり、無事に行く事が出来た（父は仕事中だった）。自宅は畳が半分浸かるくらいの浸水でした。

被災し準半壊認定。義援金以上に修理費に係るため、借金も視野に入れている。大雨により半壊した部分から雨が入り、天井が落ちてる。父は姉の家に行くことになり、統合失調症の母と2人暮らし。関係性も悪く会話が成立しない。修理費の一部に充当したい。

重度身体障害でコミュニケーションも困難。全面支援が必要な状態である。豪雨災害後、現在も断水継続中。一時停電と電話が通じない状況となる。福祉避難所へ避難も検討したが、道路は土砂崩れで通ることが出来ず、避難所での生活もストレスに繋がると考え、自宅を過ごすことを選択する。

1月の地震後は珠洲市の自宅で生活していたが、9月の豪雨で床下浸水。裏山から流れてきた水の影響で、水道管が損壊。現在も通水していない。3歳の娘もいるため、水がないと生活や子育てに支障をきたすと判断し、12月から仮設住宅で生活している。

長時間の豪雨と風により屋根のブルーシートが外れ、家中が雨漏りした。火災報知機に水が入り誤作動で非常ベルが鳴りやまなくなり、子供も恐怖で固まっていた。床下浸水はくいとめることが出来たが、庭のコンセント付近まで水がたまり、漏電、停電になるところだった。

災害後、白山市の避難所へ避難。地震時も洪水時も一人暮らしのため大変つらい思いをした。9月の豪雨による洪水では床下浸水した。家の中で水位が上がってくるのを見ながら、不安な思いをしながら見ていた。水が引いた後、すぐに近所の男の人が手伝ってくれ、一緒に泥をかき出した。現在もまだ水は繋がっていない。

床下浸水。車水没（廃車）。当時は近くの避難所へ膝まで浸かりながら行きました。現在は、2階での生活になり慣れなくて不満な様子。大きな声で何度も同じ事を言っています。



輪島市久手川付近

リレー・エッセイ 災害と障害者 第八十三回

## 令和6年

# 能登半島地震を体験して

### 元日に能登半島地震が発生

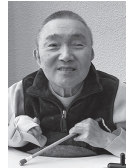
令和6年元旦、能登半島地震に見舞われた方々に心からお見舞い申し上げます。

青山彩光苑は、平成元年に能登地方初の障害者療護施設として利用定員50人で開設。平成5年に50人が増築され、現在、約80人が生活されています。

元旦の午後4時10分過ぎ、パソコンをしていると急にスマホが鳴り出しました。最初は緩やかだったので、いつもの余震だろうと思っていました。

ところが、揺れがだんだん大きくなり、テーブルの品物が落ちてくるし、怖かったです。揺れが大きくなり建物の倒壊が予想され、危険なので職員の指示で外へ出ました。雪が降っていないことが幸いでしたが、夕方なので寒かったです。外へ出ると、スマホの緊急地震速報が何度も鳴り、渡り廊下の外壁が落下し、地面のアスファルトも大きくひび割れていました。

おげや ぜんいち  
桶屋 善一



石川県七尾市・青山彩光苑に入所中。1954年3月16日宝達志水町生まれ。生後間もなく脳性麻痺の障害にかり、手足や言語に障害がある。6歳から障害児施設で機能訓練、股関節の手術等を行う。小・中・高は養護学校へ通う。高等部卒業後、障害者授産施設に入所。1985年に七尾市の障害者支援施設「青山彩光苑」に入所。障害者向けの機関紙「HSK季刊わたぼうし」を33年間（1985～2018年）編集。2008年よりデジカメに興味を持ち、電動車いすにデジカメを取り付け、七尾市コミュニティバス「ぐるっと7」沿線、七尾市内のバリアフリー状況を取材、編集している。

容器を使っていました。

七尾市内の水道の殆どが壊滅状態で、青山彩光苑の敷地内の水道管もいつ復旧するかは目処がたちませんでした。そのため、4月まで入浴が出来ず、月に1～2回、七尾市内の老人福祉施設の入浴を利用したり、清拭で対応していました。5月から2箇所ある入浴設備のうちの1つの修理が終了し、現在は、もう1か所も修理が終了し、週に2回の入浴が出来るようになっていきます。

倒壊した居室棟の渡り廊下等、大規模に損害を受けている箇所は、7月頃の完成予定で年明け1月から修復工事が始まっています。

地震が起こった日は、お正月といっても利用者のほとんどが高齢者です。もちろん家族も高齢化、両親が亡くなった等の事情もあり、家へ帰る人は数人しかおらず、代わりに家族が面会に来られています。私も10年以上、自宅へ帰っていません。

ある程度地震が収まってから室内に入り、食事にカロリーメイトが配られました。夜の就寝は、ホールにベッドを運んで寝ました。元日の日勤職員も家へ帰らず、夜勤者と一夜を過ごしました。

### ライフライン

私が入所している青山彩光苑は、地震直後も停電はせず、暖房・電気が通常通りであったことが何より幸いでした。もし、停電が長く続いていたら、私も含め、寒さで体調を崩す利用者が出たと思います。皆さん、体調を崩すことなく、無事に冬を越すことが出来ました。

発災翌日から、地元の北陸放送MROラジオを朝から晩まで聴いていました。2日からは、テレビアンテナ・インターネットのWiFiが故障したため、テレビも映らず、インターネットも出来なくなりました。そのため地震情報はラジオだけでした。いつも聴いているアナウンサーが、元日から情報を伝えてくれている。ありがたいことです。

今回の地震での最大の課題は断水でした。地震直後の食事はカロリーメイトと水分だけでした。数日後には、朝食時間を遅くして、パンやクラッカーとコーヒー、牛乳などでした。昼食と夕食は、普通の食事と変わらないうらいでした。断水のため食器を洗うことができないので、7月頃までは使い捨ての

### 被災地、輪島旅行

2024年11月に青山彩光苑の企画で能登半島地震の被災地の輪島へ旅行しました。車窓からは、道路は復旧工事が進んでいましたが、倒壊した住宅、商店街、屋根に青いビニールシートがかけられた住宅が見えました。怖かったです。

輪島朝市通りですが、ほとんどの商店街が倒壊してしました。テレビで見る倒壊したビルは解体工事が終了して更地になっていました。

昨年6月、ゆめ風基金の方々が青山彩光苑を訪問され、東日本大震災を体験された障害者の体験を聞かせていただきました。また、ゆめ風基金の創始者である牧口一二さんが亡くなったことも知りました。私が牧口一二さんに出会ったのは、40年以上前に金沢の障害者団体が主催した講演会でした。他にも自立生活支援センター富山が主催する講演会でお目にかかり、お話しさせて頂きました。優しい方でした。心からご冥福をお祈りします。

最後に私のような者に、原稿依頼をしていただいたゆめ風基金の皆様へ感謝を申し上げます。

輪島朝市通りの様子







左から 小室等さん、  
望月衣塑子さん、戸田二郎代表  
(カタログハウスの学校提供)

## 東京イベント報告

理事 橘高 千秋

カタログハウスの学校共催

第19回ゆめ風であいましょう(12.6ココネリホール)～能登地震であらわになったこの国の危機～

ゲスト:東京新聞記者 望月 衣塑子さん

冒頭は小室等さんとこむろゆいさんの音楽。最初は「心おさえて」。知的障害者の詩に小室さんが曲をつけた心打つ歌。次は谷川俊太郎さん作詞「希望について私は書きしるす」。『どこの国のものでもない風よ なんの主張もせぬ旗を翻せ春の野に』初めから涙腺決壊。

続いて望月衣塑子さんのお話。能登半島地震では、官邸と知事の初動が遅れたこと、その後の対応も十分でなかったことが多くの犠牲と復興の遅れを招いたと指摘。なんと災害関連死が熊本地震を超えた。道路事情の悪さが救援の遅れの要因と政府は言うが、早期の自衛隊大量投入、そして空挺団を「事始め式」ではなく、早急に被災地に派遣していれば多くの生存者を救うことができたはずだと指摘。多数の被災者が国、県からの救援を待っていた。多くの救助要請が地元消防署に寄せられたが対応できなかったという。被災者の「見すてられた」との悲痛な声が響く。なんと市民に冷たい国か。

望月さんは最後に「福島原発のデブリ取り出しもままならぬまま原発推進をやめない政府、人々の苦悩は政治が作り出している。人の命を大切に政治を忘れてはいけない。これからも、被災地で苦しむ人々に寄り添って取材していきたい」と締めくくられた。

鼎談では、被災者からの伝言が紹介された「とにかくキッチン、バス、トイレを保障してほしい」。災害の多い国では当たり前のこと。台湾ではすぐにテント、トイレ、キッチンカーが揃えられていた。この違いはなんだ？ 国はまだまだ命の危機に瀕する被災者の救助を！

ファイナル、小室さんは谷川俊太郎さん、牧口前代表の訃報に触れ「谷川さんも牧口さんも、永六輔さんもこの会場で我々を見ているかもしれないね」と。そして谷川さん作詞の「死んでから」の歌が始まる。『これから何が起きるのか、もうちょっと死なないとわからない。私は良い人間だったろうか(略)死んでからも魂は忙しい』。続いて「だれかが風の中で」。会場に広がるハーモニー。そして3人の合作「ゆめ風の歌」。多くに支えられたゆめ風基金。再び涙腺決壊。





大阪府箕面市

認定NPO法人そよかぜ そよかぜの家  
職員 三枝 有紀

そよかぜの家は「みのお」という街で、由緒正しき（それってなんだあ？）障害者運動の歴史を重ねてきました。小規模作業所時代を経て、今は就労継続支援B型事業所となっています。就労継続支援に移行した当初から「なんて差別的な制度だ！」と私は憤慨しつつ、この制度を使わなければ、生き残りの道はないということもあり、何としても存続させねば…。ということで、格闘しながら日々を積み重ね、何とか、今に至っています。

そよかぜの家の活動は、箕面市内や他市の小・中学校や公共施設への販売活動、リサイクル品の回収や市民の方との交流を目的としたバザー、指定のごみ袋の製袋作業（10枚1組にする作業）・図書館の本の修理、企業のチラシ配布などの委託作業や陶芸商品やオリジナル商品の制作販売などがあります。こういった活動を通して、障害を持つ人たちが、作業所内において作業するばかりではなく、そよかぜのように街に出て販売活動などを担っている姿を様々な人たちに見てもらうことで、障害のある人が特別な存在ではなく、街の風景の中に溶け込み、時には主張し、当たり前のこととして社会を構成している一員であることを発信しています。

戦争や、災害などの暗いニュースに「政治がもっと策を講じなきゃだめだ!! もっとできることがあるはずだろう!!」とテレビに向かって一人、怒りつつ、自分たちにできることを一つ一ついいねいに取り組んでいこうと、心から思っています。これからも色々な人たちとつながっていくことができますように…。よろしく願いいたします。

応援団から  
こんにちは！

vol.12

災害時にはより小さな地域単位、「町」や「村」での情報収集が必要になってきます。そこで、いざ、災害が発生したときに「地域単位」で情報収集してくださる団体を募集することにしました。それが「ゆめ風応援団」です。

広島県三原市

NPO法人PianoPiano  
代表理事 阿部 真理子

瀬戸内の福祉事業所、NPO法人PianoPiano（ピアノピアノ）です。イタリア語で「焦らず少しずつ、ゆっくり、のんびりやろう」という意味です。重度の障害のある人が地域で暮らすことを目標にしています。「このままずっとこの町で暮らしたい、自分の生活づくりをしたい」と思っている仲間とその実現のための活動を行っています。医療的ケアが必要な仲間もアパート暮らしを実現しています。

2002年開所以来17人の仲間が親元を離れ自分の思う暮らしづくりや、事情で一人になった仲間が自分の思う暮らしづくりを実現し現在も継続しています。三原の地域以外で活躍している仲間もいます。

2018年7月の西日本豪雨の折には、当事業所は断水でしばらく困りましたが、川の氾濫により床上に浸水した事業所には支援をいただき、再度活動ができるようになりました。ありがとうございました。

ゆめ風応援団に加わらせていただき、できる行動を行っていきたくと思っています。

## カンパをいただいた団体

# 2024/10-2024/12

たくさんの個人や団体の方々よりご寄付いただいております。心より感謝いたします。

10/1	ゆうとおん (八尾市)	12/8	カトリック枚方協会 (枚方市)
10/3	えにしに集う音楽仲間たち (大阪市)	12/10	京都聖マリア教会婦人会 (京都市)
10/15	伊予市障害者団体連合会 (伊予市)	12/13	日本聖公会大阪教区婦人会 (大阪市)
10/22	でんでん虫の会 (加東市)	12/17	富翔会 (富田林市)、清水手をつなぐ育成会 (静岡市) おとぎ保育園 (綾瀬市)
10/25	草笛学園 (福井市)	12/18	豊中きらら福祉会クレヨン (豊中市)、北巣本保育園 (門真市)
10/29	和太鼓蓮うてな (大田区)	12/20	共働舎花の会 (高槻市)
10/30	路交館 (大阪市)	12/23	ゆめ風ネット加賀 (金沢市)、フジテクノ (川崎市) 吹田障がい者協議会 (吹田市)、坪井令夫商店 (名古屋)
10/31	武庫川すずかけ作業所あとリエ (西宮市)	12/24	地域支援グループひまわり (川西市)、Tea for two (四街道市)
11/5	南部交流センター (堺市)	12/25	高槻市障害児者団体連絡協議会 (高槻市)
11/13	聖フランシスコ会生野みんなの家 (大阪市)	12/26	豊中友の会公共係 (豊中市)、芦屋西宮市民法律事務所 (西宮市)
11/18	吹田障がい者協議会 (吹田市)	12/27	津山ベース (登米市)、くるん (大阪市)
11/20	夢工房こぼちゃん (八頭郡)、やました甲乙鍼灸院 (大阪市)	12/27	野村福祉園レインボーアグリ (西宮市)
11/25	豊能障害者労働センター (箕面市)		
11/27	東大和障害福祉ネットワーク (東大和市)		
12/2	貝塚こすもすの里 (貝塚市) 自立生活センターリングリング (神戸市)、あおば (福島市)		

## 事務局のうごき

2024年10月から12月の動きを一部ご紹介します。

毎週 (曜日不定) : 事務局会議 | 毎週金曜日 : 新 HP 打ち合せ

10/1	能登半島地震支援会議	11/12	OSN ブロック別情報交換会 (泉州会場)
10/3	JDF 能登半島地震支援センター連絡会議	11/14-16	能登訪問 (八幡)
10/8	童夢 KANSAI 実行委員会	11/16-17	能登からの風展 in 白山市
10/9	共同通信取材	11/17	大阪 JRAT (日本災害リハビリテーション支援協会) 講演
10/10	アクセス関西ネットワーク講演	11/20	OSN ブロック別情報交換会 (河南会場)
10/15	此花区居宅支援連絡会講演	11/21	OSN ブロック別情報交換会 (北摂会場)
10/17	NHK 取材	11/23	童夢 KANSAI フェスティバル
10/18	ゆめごよみ 109 号編集会議	11/25	30 年企画会議・理事会
能登個人見舞金 ZOOM 説明会 (輪島市・能登町・珠洲市・穴水町)		11/27	大阪救援本部会議
10/19	共同連マラソントーク (七尾市 : ともえ・新潟市 : スペース Be 来阪)	12/3	中学生プロジェクト事前講習 (摂津第 2 中学校) 能登半島地震情報連携会議
10/21	30 年企画会議・理事会	12/4	広島県立沼隈特別支援学校講演
10/22	NHK 取材	12/5	2025 年ゆめ風総会 ZOOM 打ち合せ
10/23	おおさか災害ネットワーク (OSN) 企画会議 BCP 研究会	12/6	中学生プロジェクト避難訓練 (摂津第 2 中学校) ゆめ風で会いましょう in 東京
10/29	能登個人見舞金 ZOOM 説明会 (輪島市・能登町・珠洲市)	12/9	命と絆をつなぐ会アツマルシエ講演 (青森)
10/31	能登個人見舞金 ZOOM 説明会 (推薦団体)	12/10	就労移行支援事業所ラ・ポルタ講演 (埼玉)
11/ 2	ふくてっく講演	12/11	BCP 研究会
11/ 5	能登半島地震支援会議	12/13	OSN ブロック別情報交換会 (河北会場)
11/7	ゆめごよみ 109 号編集会議	12/17	30 年企画会議・理事会
JDF 能登半島地震支援センター連絡会議		12/18	JDF 能登半島地震支援センター連絡会議
11/ 8	山形県社会就労センター協議会講演	12/19	大阪府立東住吉支援学校講演
童夢 KANSAI 実行委員会		12/20	泉州北園域グループホーム事業所連絡会講演
11/11	OSN 企画会議		童夢 KANSAI 反省会

NPO 法人 ゆめ風基金  
**会計報告**

ただいまの基金額  
**321,615,168**円

貸付金の残高 **0**円  
これまでの救援金・救援活動費総額 **652,282,405**円  
総会員数 **13,933**人

		前回報告残高 2024年9月現在	この3ヶ月の動き 10月から12月まで	今回報告残高 2024年12月現在	
収支計算書	収入の部	会費収入	16,068,998	7,313,976	23,382,974
		寄付金収入	26,047,694	5,991,764	32,039,458
		臨時寄付金収入	21,986,544	1,168,112	23,154,656
		助成金収入	259,874	292,500	552,374
		事業収入	823,481	993,591	1,817,072
		雑収入	28,997	118,432	147,429
		貸付金返済収入	0	0	0
		保証金返済収入	0	0	0
		預り金収入	1,289,601	498,176	1,787,777
		未収入金収入	111,000	△ 217,000	△ 106,000
	未払金収入	0	0	0	
	<b>合計</b>	<b>66,616,189</b>	<b>16,159,551</b>	<b>82,775,740</b>	
	支出の部	救援金支出	41,521,743	25,503,299	67,025,042
		救援活動支出	1,164,218	50,550	1,214,768
		貸付金支出	0	0	0
		基金拡大活動支出	371,589	616,399	987,988
		防災活動事業支出	356,190	271,688	627,878
		広報活動事業支出	1,813,870	892,608	2,706,478
		その他事業支出	501,340	511,732	800,897
人件費支出		10,047,776	3,587,362	13,635,138	
その他事務費支出		4,163,244	1,463,367	5,626,611	
預り金支出		1,467,214	380,751	1,847,965	
未払金支出		287,904	△ 292,920	△ 5,016	
固定資産購入支出		0	0	0	
保証金支出		0	0	0	
<b>合計</b>	<b>61,695,088</b>	<b>32,984,836</b>	<b>94,467,749</b>		
<b>差引：収支差額</b>		<b>4,921,101</b>	<b>△ 16,825,285</b>	<b>△ 11,692,009</b>	
貸借対照表	資産の部	基金特別会計預金	340,236,006	△ 18,620,838	321,615,168
		一般会計現金預金	905,697	1,795,553	2,701,250
		[現金預金合計]	341,141,703	△ 16,825,285	324,316,418
		障害者貸付金	0	0	0
		有形固定資産	416,152	△ 213,663	202,489
	その他の資産	1,065,966	283,483	1,349,449	
	<b>合計</b>	<b>342,623,821</b>	<b>△ 16,755,465</b>	<b>325,868,356</b>	
	負債の部	未払金	0	292,920	292,920
		預り金	121,405	117,425	238,830
		その他の負債	0	0	0
<b>合計</b>		<b>121,405</b>	<b>410,345</b>	<b>531,750</b>	
<b>差引：正味財産</b>		<b>342,502,416</b>	<b>△ 17,165,810</b>	<b>325,336,606</b>	

脚注 1. 今回は10月から12月までの3ヶ月間の報告です。  
2. 救援金は7件の支払いがありました。(その他豪雨見舞金88人分880万円)  
3. その他は特に大きい変動はありません。

災害別の救援金総額 以前に他の災害でお届けした救援金はゆめ風 WEB サイトとブログに掲載しています

東日本大震災

2016年熊本地震

2018年西日本豪雨

2024年能登半島地震

**350,127,104**円

**55,598,387**円

**45,164,095**円

**72,304,483**円



そよ風、ゆめ風、六甲おっこ

## 各地からの風だより

2024.10-2024.12

▼「地震は止められないけど、原発は止められる」  
 (伊勢市) ▼出来る事はわずかですが、少しでも  
 力になればと思っています(十日町市) ▼自立し  
 よう！連帯しよう！でないところの世は生きづら  
 い(久留米市) ▼牧口さんはいなくなっただけど、  
 より身近にいるような気がします(大阪市) ▼協  
 力できることの幸せを感じています(川口市) ▼  
 定額減税調整給付金の一部です。能登の支援に  
 役立てて下さい(佐久市) ▼いつもみなさんのた  
 めにありがとうございます。企画のときに募金  
 したものです。少ないですが、たくさんの障害  
 当事者がおごづかいから協力してくれました。  
 よろしくお願ひします(堺市) ▼政治が弱者の味  
 方になる日がくるのでしょうか。特に石川県の  
 対応があまりに遅く、ひどく、金沢中心のまま、  
 切り捨てが続いていて悲しい(横浜市) ▼私たち  
 も、福祉避難所設置、運営協議会有志の会を立  
 ち上げがんばっています。参考にさせていただきます  
 きます。ありがとうございます(八頭郡) ▼毎  
 回の会計報告に「1円たりとも不明にしない」信  
 頼できる(ゆめ・風)に少しばかりですが託しま  
 す！(羽島市) ▼度重なる自然災害、引き続き戦  
 災…胸痛むこと多き世ですが、少しでも役立て  
 ていただけたらと(松山市) ▼おかしくなってい  
 く世の中。日々皆さんが活動をされている記事  
 を読むと、ほっとします(和賀郡) ▼今年もささ  
 やかですがお届けします(松山市) ▼希望を持っ

て、少しずつでも頑張りましょう!! いつも応  
 援しています(横須賀市) ▼少しでも生命と夢を  
 守りたい(枚方市) ▼たくさんの人達に支えられ  
 て今がある幸せの種を少しですが回りの困って  
 いる方に(枚方市) ▼大変な中作られた本、世に  
 広く届きますように。ゆめ風に送付したいので  
 わずかですみません(新宿区) ▼能登の皆様へ。  
 90歳おばあちゃんより(東大阪市) ▼遅くなりま  
 したが今年も送金できる事感謝してます。受く  
 より与えることは幸いなり。皆様良いお年お迎  
 え下さい!!(御殿場市) ▼全ての人にほっとでき  
 る場所を。朝がたのしみにできる眠りを(日野  
 市) ▼牧口さんの「ボクに彩を与えてくれたのは、  
 障害者人生だからにちがいない」を読みその前  
 向きさに大変勇気付けられました(横浜市) ▼松  
 葉杖ついてまわりをリードしたマキさんの道歩  
 いていこう(西宮市) ▼気持ちだけです。明日に  
 向けて歩みましょう(京都市) ▼牧口さんの障害  
 者は障害を持った人のことではなく社会環境に  
 障害を感じている人たちのことだと医療サイド  
 側からの百八十度の転換を伝えていきたいです  
 (小松島市) ▼世界中が支えあい助けあいの世界  
 に1秒でも進みますように(木津川市) ▼世知辛  
 い世の中だけど一致団結して頑張りましょう!  
 (北本市) ▼この寄付は自分が生きている証です。  
 ありがとうございます(大阪市) ▼今年も1年元気に働け  
 たことに感謝して(横須賀市)

ゆめ風ブログ (<https://yumekazek.com/blog/>) にも掲載しています

**編集後記** ▶ 2月26日大船渡市で山火事が発生し、28日現在3300人以上に避難指示が出されて  
 います。避難を余儀なくされた皆さんの状況が大変気がかりです。(U.K.)

## ゆめ風 30年イベントのお知らせ

参加費 1,000円

2025/5/25(日)13時開場 14時開演 @ 大阪府教育会館 たかつガーデン8F もしくは ZOOM 参加も可能

▷ 室崎 益輝さん(神戸大学名誉教授・日本防災士会理事長)による基調講演

▷ 能登半島地震パネルディスカッション(被災地より3名お招きします)

▷ 小室 等さん・こむろゆいさんのミニコンサート

**申し込み方法**: メール / FAX / Google フォーム (<https://bit.ly/30yumekaze>)

記入内容: 氏名・住所・連絡先・所属・参加方法(来場または ZOOM)・参加人数・必要な配慮等

申し込み先: ゆめ風基金 ※ Google フォームより申し込みされた方は、改めてこちらよりご連絡差し上げます。